

Empowered by Innovation

NEC



2012年3月期 第3四半期 決算説明資料

2012年 1月26日

NECフィールドディング株式会社

1. 2012年3月期 第3四半期 決算概要

主要経営指標<連結>

※数値は億単位で四捨五入
金額単位：億円

	2012年3月期 第3四半期累計 4~12月実績		前年同期比	
		売上比	増減	伸長率
売上高	1,329	---	△31	△2.3%
プロアクティブ・メンテナンス (保守サービス)	702	52.8%	△14	△1.9%
フィールドイング・ソリューション	627	47.2%	△18	△2.8%
システム展開サービス	196	14.8%	△10	△4.8%
サプライサービス	287	21.6%	△9	△2.9%
運用サポートサービス	143	10.8%	+1	+0.5%
営業利益	55	4.1%	+2	+3.5%
経常利益	57	4.3%	+2	+2.9%
四半期純利益	27	2.0%	△4	△13.4%
一株当り当期純利益 (円)	49.89	---	△7.74	△13.4%
フリーキャッシュフロー	+9	---	△9	---

主要経営指標<連結>

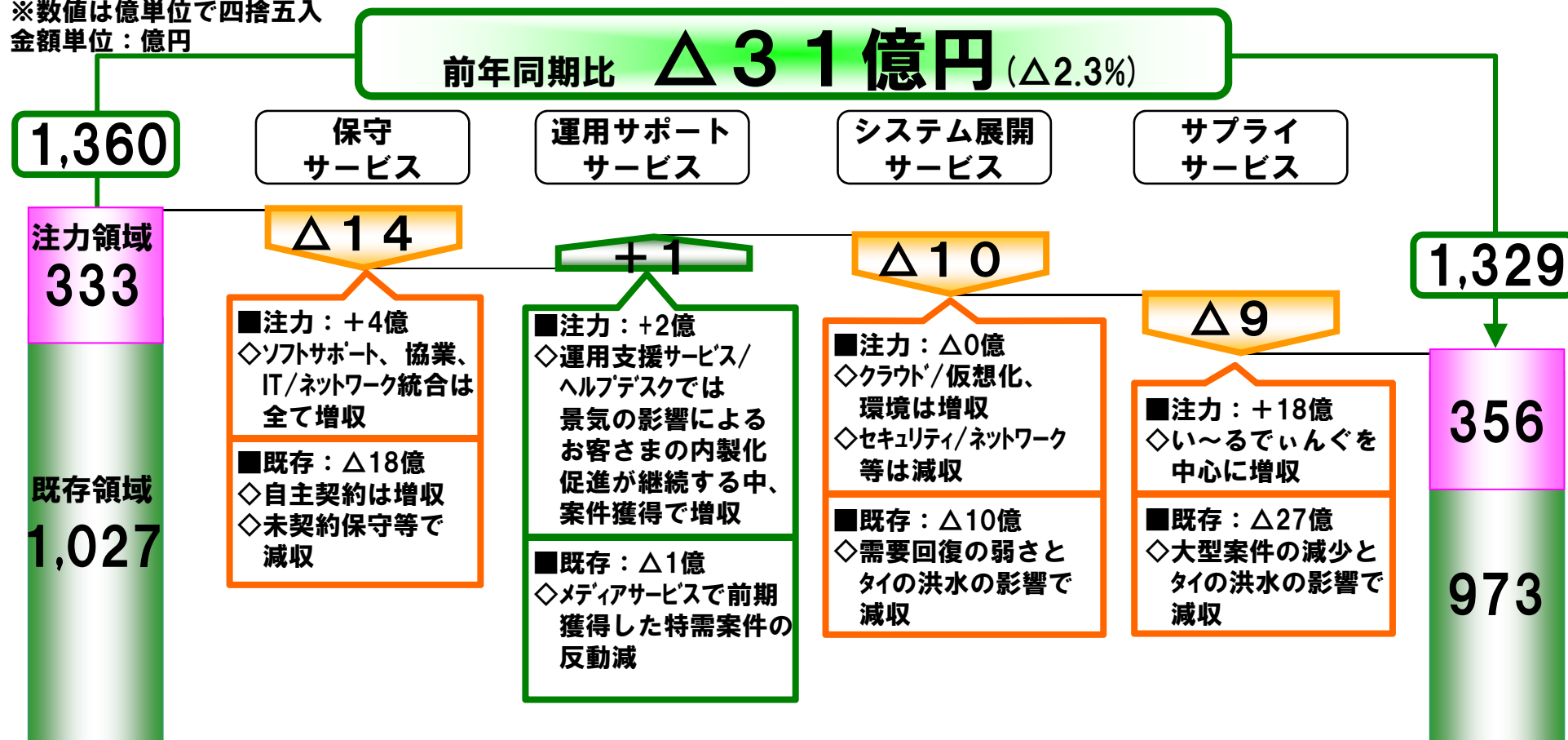
※数値は億単位で四捨五入
金額単位：億円

	2012年3月期 第3四半期累計 10~12月実績		前年同期比	
		売上比	増減	伸長率
売上高	444	---	△7	△1.5%
プロアクティブ・メンテナンス (保守サービス)	233	52.5%	△6	△2.5%
フィールドイング・ソリューション	211	47.5%	△1	△0.3%
システム展開サービス	67	15.2%	+1	+1.6%
サプライサービス	95	21.4%	△5	△4.6%
運用サポートサービス	48	10.9%	+3	+6.5%
営業利益	19	4.2%	+0	+1.6%
経常利益	19	4.2%	+0	+1.1%
四半期純利益	5	1.1%	△6	△55.3%
一株当り当期純利益 (円)	8.88	---	△10.98	△55.3%
フリーキャッシュフロー	△16	---	+5	---

売上高増減要因（前年同期比）

● 注力領域は増収するものの、既存領域での需要回復の弱さ、大型案件の減少に加え、タイの洪水の影響などにより減収

※数値は億単位で四捨五入
金額単位：億円



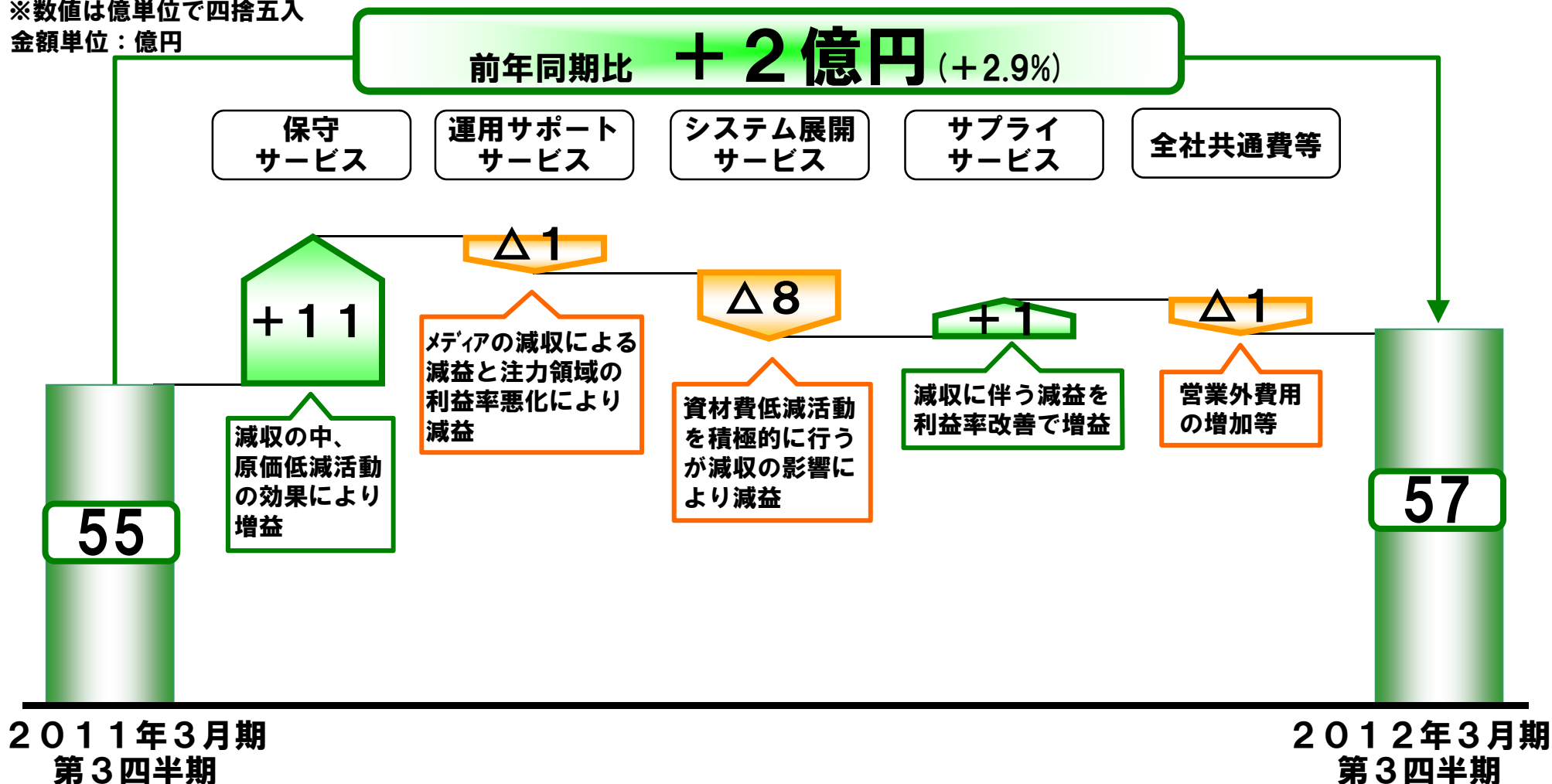
2011年3月期
第3四半期

2012年3月期
第3四半期

経常利益増減要因（前年同期比）

● 減収の中、原価低減活動の効果による利益率改善により増益

※数値は億単位で四捨五入
金額単位：億円



戦略投資の状況

- 事業領域拡大や業務プロセス改革など12億円の投資を実施

事業領域拡大：8億円

- LCM事業強化
- クラウド/環境事業強化
- グローバル事業強化

費用構造改革：2億円

- 業務プロセス・IT改革

経営基盤改革：2億円

- 人材育成・CS向上対策
- 災害対策等

事業活動状況／トピックス

成長に向けた活動

◇ライフサイクルマネジメント（LCM）／クラウド事業の強化

- サーバ仮想化ソリューションパックに2モデル追加し、全8モデルへ拡充（10月）
 - ・ サーバの耐障害性を向上させてシステムの連続稼動を実現する「FTサーバパック（Hyper-Vモデル）」
 - ・ サーバを二重化するとともに、仮想化共有ストレージを採用し、高い可用性を実現する「Virtual-SANパック（Vmwareモデル）」
- 案件発掘および対応力強化に向けた専門要員の増強
 - ・ プラットフォームSEの増強
 - 一強みであるオンサイトでの対応力を活かしたLCM事業の拡大に向け、※中計最終年度目標550名
9ヶ月累計で361名を計画通り育成（今年度累計目標450名）
 - ・ クラウド環境に対応した設計・構築要員の強化
 - 一クラウド環境に対応した仮想化ソリューションの提供に向け、※中計最終年度目標550名
9ヶ月累計で304名を計画通り育成（今年度累計目標350名）

◇環境ビジネスの強化

- 省エネ化と高い信頼性の大容量無停電電源装置「BP-LEシリーズ」を商品化（10月）
 - ・ 給電方式にパラレルプロセッシング方式を採用したことで、常時インバータ給電方式に比べ、消費電力を約75%削減し省エネに貢献するとともに、信頼性の向上によりシステムの安定稼動に寄与
- IT環境アセスメント要員の強化
 - ・ 環境に配慮したお客さまシステムの最適運用への提案強化に向け、前年度に育成した138名の更なるスキル向上を目指して、計画通り123名のステップアップ教育を完了

事業活動状況／トピックス

成長に向けた活動

◇ IT事業継続ソリューションサービスの拡販活動

- 「事業継続力を強化する企業のITインフラセミナー」を開催（11月）
 - ・ 上半期の全国開催で好評を得た仮想化／クラウド技術を活用した製品・ソリューションに対して、事業継続の観点から様々な事例を交えて紹介するセミナーをニーズの高い静岡県の3会場で集中開催（9ヶ月累計：来場数155社202名）
 - ・ 本セミナーを活かして、お客さまシステムの安定稼働を実現するソリューションの提案活動を強化

CS向上活動

◇ CS No.1 評価獲得を目指した活動を継続

- 提案活動強化によるお客さまニーズへの対応と技術力向上による障害対応力の強化
 - ・ 約4,000名のCEがお客さまシステム（29.7万社、563万システム）の安定稼働に向けて日々活動するとともに、更なるCS向上に向けた取り組みを実施
 - ・ 訪問活動の強化による課題解決や提案活動の推進（上期末：約3,500件訪問）に加え、CEの人財育成や技術力向上に取り組み、お客さまニーズに対応しつつ、予防保守および障害対応力が向上したことで、9ヶ月累計で約25,000件の障害出動件数が減少（前年比約6%改善）し、システムの安定稼働に寄与

◇ ヘルプデスクの品質に対する外部機関評価

- HDIサポートセンター国際認定（SCC）アワードを連続受賞（10月）
 - ・ 2010年12月に3回目の更新認定（Ver.4.1）を世界トップレベルで取得後、HDIメンバーとしてサポート業界の発展に寄与したことが評価され昨年度から連続受賞となる

事業活動状況／トピックス

CSR活動

◇社会・地域貢献活動および文化支援活動への継続した取り組み

● 「世界遺産大学」に特別協力として参画（10月）

- ・当社は世界遺産の保全と活用への取り組みを日本各地で展開する「世界遺産劇場」に第1回から協賛し、今年度は冠スポンサーとして協賛。同時に、日本の有形・無形の世界遺産の魅力を豪華な講師陣により紹介する「世界遺産大学」へも第1回より特別協力として参画（第8回：出雲）

2. 2012年3月期 通期見通し

2012年3月期 通期見通し<連結>

- 「改正法人税法等」に基づく税率変更による繰延税金資産の取崩しの影響を踏まえ、当期純利益を下方修正

※数値は億単位で四捨五入
金額単位：億円

	2012年3月期		前年同期比	
	通期見通し	計画差	増減	伸長率
売上高	1,960	±0	+69	+3.6%
プロアクティブ・メンテナンス (保守サービス)	957	±0	+1	+0.1%
フィールドイング・ソリューション	1,003	±0	+68	+7.3%
システム展開サービス	350	±0	+44	+14.5%
サプライサービス	451	±0	+16	+3.5%
運用サポートサービス	202	±0	+8	+4.3%
営業利益	100	±0	+20	+25.0%
経常利益	100	±0	+15	+17.3%
当期純利益	48	△6	+1	+1.0%

資料についてのご注意

本資料に記載いたしました認識、戦略、計画などのうち、将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないために、不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

Empowered by Innovation

NEC

NECフィールドディング